

とんぐい村の こみ・すく通信

令和2年8月7日発行 第14号
更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

みんなの学校応援団 の活動を紹介 <その7>

上更別小1, 2年生 図工で坂井さんから学ぶ 「ひもひもねんど」でお皿づくり

7月21日、上更別小学校の1, 2年生が学校応援団である坂井友子さんに講師としてきていただき、図工で「ひもひもねんど」を学びました。

坂井さんは、熱中食堂にも勤めていらっしゃる陶芸家です。この日は粘土をひも状にし、それをくるくる巻いてお皿の形にしていく方法を教えてくださいました。



【児童の作業を温かく見守る坂井さん】

お皿をつくっている子どもたちに、「上手だね」「うまいね」「かわいいね」「いいね」など、プラスメッセージをどんどん伝え、子どもたちのやる気をアップさせていました。休み時間に子どもたちに「休んで」と言っても椅子に座ったまま、黙々と楽しそうに粘土を触っていました。

できあがった個性豊かな粘土のお皿は、坂井さんが自分の窯で焼き上げ、夏休み後に子どもたちに手渡される予定です。楽しみですね。



子どもたちへの応援メッセージ

村社会福祉協議会の野々村和章さんからメッセージが届きました。

更別の子ども達へ

今年も更別小学校の4年生に「福祉について」のお話をさせてもらいました。

「福祉」もそうだと思いますが、世界は「聞いたことがあるけど、よく分からないこと」であふれています。

たくさんの方に興味をもって、できれば関わり体験して、毎日楽しく過ごしてもらえたらと思います。

みなさんを応援しています。

更小5年生家庭科の時にお手伝いいただいた栗田さん、梶浦さん、草深さん、佐藤さんからメッセージが届きました。

更別小学校5年生の皆さんへ

今年初めて授業の中に入って、お手伝いをさせてもらいました。皆さんと一緒に裁縫の勉強をすることができ、楽しかったです。

○教えたことを忘れずきちんとできていたことがすごいなあと思いました。また、一生懸命根気強くがんばっていましたね。

○久しぶりにお子さん達と関わる事ができて本当に楽しかったです。元気をもらいました。

○女子ばかりでなく男子も真剣にがんばり、特に、みんなで教えあっている姿がすばらしかったです。分からなくなると「ヘルプ！」と言って呼んでくれるのもうれしかったです。

○はじめは「無理！」と言っていたお子さんも、地道にがんばり、最後はできていて「びっくり」していましたね。みなさんのがんばっている姿は頼もしかったです。